

AI 時代のデータセンター戦略とインフラの展望

～立地・通信・事業モデルの進化～

講
師

フォーティエンスコンサルティング株式会社 通信・メディア業界担当

マネージャー 倉田 渉矢 氏

1Finity 株式会社 ネットワークカスタマーサクセス本部

ストラテジックセールスエンジニアリング統括部 統括部長 杉山 晃 氏

日 時 2026 年 12 月 7 日 (月) 午後 1 時 30 分～4 時
 受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
 会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4F

I. AI 時代のデータセンターはどう変わるか

倉田 渉矢 氏 【13:30～14:40】

ワット・ビット連携の現在地と、構想を実需に変えるために必要なこと

データセンターの計画は全国で相次ぎ、投資はかつてない盛り上がりを見せています。しかし現場では、多くの計画が「誰が使うのか」という一点で止まっています。

電力は足りないのではなく運べない。この日本の制約を出発点に、ワット・ビット連携の現在地と、地方分散型データセンターの活路を読み解きます。鍵は、箱を建てる不動産業的な発想から、顧客の課題を解く事業への転換にあります。コンサルティング実務の視点で、新たなデータセンターのあり方とビジネス機会を考えます。

1. 電力は「足りない」のではなく「運べない」 - AI 時代に露呈した日本の構造的な制約
2. ワット・ビット連携の現在地 - 動き出した制度・投資と、ロードマップに書かれていないもの
3. 新たな集積地はどこか - GX 戦略地域の認定と、誘致を「入り口」で終わらせないための条件
4. 「建てれば使われる」は成り立たない
- 分散型データセンターの顧客不在問題と、フィジカル AI という活路
5. 次世代のデータセンターはどうなるか - 箱を建てる発想から、課題を解く事業への転換と事業機会
6. 質疑応答／名刺交換

II. オールフォトニクスネットワーク(APN)の現状と今後

杉山 晃 氏 【14:50～16:00】

AI デマンドが拡大するなか、APN の現在地と将来に向けた最新の取り組み状況について、POC 実施状況を含めご紹介を行います。

北米および日本におけるデータセンターおよびデータセンター間接続の状況、さらに、分散データセンターについての動向、さらに APN の活用について共有します。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. オールフォトニクスネットワーク(APN) | 4. コヒーレント技術の進化 |
| 2. AI データセンターおよび DC 間接続 | 5. 海底ケーブルネットワークへの APN 拡大 |
| 3. 分散データセンター・コンピューティング | 6. 質疑応答／名刺交換 |

PROFILE 倉田 渉矢(くらた しょうや)氏

国内通信事業会社および外資系 ICT 機器卸売企業にて、パートナーセールス、営業戦略立案、事業開発などに従事した後、フォーティエンスコンサルティングへ参画。現在は通信業界を中心に、新規事業創出とパートナービジネス強化を主軸とし、戦略立案から実行支援まで一気通貫で伴走。直近では AI を活用した事業変革支援にも取り組んでいる。

PROFILE 杉山 晃(すぎやま あきら)氏

1993 年に富士通グループに入社し、20 年以上にわたり、海底ケーブルビジネスに従事、超長距離光増幅システムの開発から、世界中で 10 以上の海底ケーブルシステムの建設・拡張に至るまで、幅広いプロジェクトを推進。さらに、10 年以上にわたり、富士通のグローバルな光ネットワーク事業統括、および、セールスエンジニアリングを統括。

